服用に際して、必ずこの説明文書をお読みください。 また、必要な時に読めるよう大切に保管してください。

鎮咳去痰薬

せき、たんに

せきどめフジマッパ (類 粒)

- ◆ジヒドロコデインリン酸塩が、せきをしずめます。
- ◆リゾチーム塩酸塩と生薬のセネガ末がたんを軟らかくして、せき・たんの症状を改善します。

使用上の注意

※ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります。)

- 1. 次の人は服用しないでください。
 - 本剤又は本剤の成分、鶏卵によりアレルギー症状を起こしたことがある人
- 2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も使用しないでください。

他の鎮咳去痰薬、かぜ薬、鎮静薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬等(鼻炎用内服薬、乗 物酔い薬、アレルギー用薬等)

- 3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください。 (服気等があらわれることがあります。)
- 4. 授乳中の人は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けてください。
- 5. 渦量服用・長期連用しないでください。

▲ 相談すること

- 1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
 - (1)医師の治療を受けている人
- (5)次の症状のある人 高熱、排尿困難
- (2)妊婦又は妊娠していると思われる人
- (6)次の診断を受けた人 心臓病、高血圧、糖尿病、 緑内障、甲状腺機能障害
- (3)高齢者 (4)薬などによりアレルギー症状を起こした
 - ことがある人
- 2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この 説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

関係部位	症	関係部位	症状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ	精神神経系	めまい
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振	泌 尿 器	排尿困難

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃ み、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範 囲の発疹・発赤等が持続したり、急激に悪化する。
再生不良性貧血	青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、 疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらっとする、血尿等が あらわれる。
無顆粒球症	突然の高熱、さむけ、のどの痛み等があらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

便秘、口のかわき、眠気

4. 5~6回服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

効能・効果

せき、たん

用法・用量

次の1回量を1日3回、食後に水またはお湯で服用してください。

年 齢	1 回量	1 日服用回数
15才以上(成人)	1 包	
11才以上15才未満	2/3包	
8 才以上11才未満	1/2包	3 回
5 才以上 8 才未満	1/3包	
3 才以上 5 才未満	1/4包	
3 才未満 服用し		ないこと

〈田法・田量に関連する注意〉

- (1)定められた用法・用量を厳守してください。
- (2)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。

成分・分量 1日量3包(1包1,200mg)中

成 分	含 量	はたらき
ジヒドロコデインリン酸塩	30mg	せき中枢の異常な興奮を抑えてせきをしずめます。
クロルフェニラミンマレイン酸塩	9mg	アレルギー性のせきを緩和します。
dl-メチルエフェドリン塩酸塩	60mg	気管支を広げ、せきをしずめます。
無水カフェイン	90mg	眠気を軽減します。
リゾチーム塩酸塩	60mg (力価)	粘膜の炎症に効く酵素で、粘りを下げてたんを出しやすく します。
セネガ末	300mg	気道粘液の分泌を促進してたんを出しやすくします。

添加剤:ヒドロキシプロピルセルロース、セルロース、デンプングリコール酸Na、乳糖水和物 含有

保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2)小児の手の届かない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わるおそれがあります。)
- (4)1包を分割した残りを使用する場合には、袋の口を折り返して保管し、2日以内に使用してください。
- (5)使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。

お問い合わせ先 株式会社 富士薬品 (OTC学術室)

電話 (048) 648-1118 9:00~17:30 (土、日、祝日を除く)

製造販売元株式会社富士薬品

埼玉県さいたま市大宮区桜木町4丁目383番地